

基本事業コード	04060001	担当課所名	清流園
基本事業名	清流園維持管理事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	2	安全で住みたくなる「快適なまち」
	政策	2	暮らしをささえる生活基盤づくり
	施策	3	汚水処理施設の整備
			総合振興計画 72 ページ

基本事業の概要	市内の汲み取り便槽、浄化槽(単独、合併)、農業集落排水処理施設等から発生するし尿、浄化槽汚泥を収集処理している。今後も施設の維持管理を適宜に実施、徹底することで安全、安定した処理を行い、経常経費の節減及び設備の機能維持を図りつつ延命化を進め、公衆衛生の向上、生活環境の保全、経費の縮減を図る。
---------	--

対象	し尿便槽、浄化槽並びに団体所有の雑排水処理浄化槽、農業集落排水処理施設を設置する市民(下水道利用者を除く)
意図 (対象をどのようにしたいか)	適正な維持管理により安全で安定した処理を行い、法令、県条例で規定の排水規制値を満足する水質の処理水を放流する。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
処理水の水質(放流水BOD値)	法規制値より厳しい目標値を設定	mg/l	1.6	5.	2.1		法規制値20mg/l
処理水の水質(全窒素濃度)	法規制値より厳しい目標値を設定	mg/l	10.9	10.	9.		法規制値40mg/l
処理水の水質(全リン濃度)	法規制値より厳しい目標値を設定	mg/l	0.2	0.5	0.1		法規制値 3mg/l
施設の無事故運転率	365日/365日=100%	%	100.	100.	100.		年間稼働予定日数に対する無事故実稼働運転

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指 標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	処理設備維持管理事業	指標	施設稼働日数		365.	日	A	
		59,258,645	60,848,012	65,020,000	365.		維持	維持
02	設備機能維持・延命化事業	指標	点検、修繕回数、改良工事実施件数		21.	件	A	○
		23,213,712	24,080,457	23,974,000	36.		維持	維持
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		83,170,000	87,265,000	
事業費の合計(円)		(A) 82,472,357	84,928,469	88,994,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定			
	一般財源	82,472,357	84,928,469	88,994,000
正規職員	業務量	5.00人	5.00人	
	人件費(B)	29,711,280	30,102,505	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み)(円)		(A)+(B) 112,183,637	115,030,974	

【重点化欄】

○: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	処理施設の維持管理事業は、市民のライフラインとして欠くことのできないものであり、年間を通して安全、安定した運転が求められる。処理後の放流水は、法規制に適合し、かつ荒川上流域にある施設状況からより厳しい目標値に設定した。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 施設の安全、安定運転による年間を通しての稼働は不可欠であり、これを実行するための設備機器の修繕、改修工事、処理薬品等(消耗品)の購入、燃料、電気等のエネルギー消費、補充は絶対条件である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 一般廃棄物処理事業(し尿、汚泥、ごみ等)は、市町村の責務であり、行政管内から発生するし尿、浄化槽汚泥の衛生的処理により、地域の生活環境の維持、荒川(1級河川)上流域の水質保全に鑑み妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 清流園し尿処理施設は稼働開始後34年経過し老朽化しており、今後10数年間運用稼働させる場合(平均的な耐用年数40年前後)には基幹設備の大規模改修工事、修繕の発生を憂慮しており、設備機器は特殊性が高く、故障の修理日数が多くなるのが常であり、また、設置年数が古く製造中止の機器が故障した場合には、部品のストック・供給がなく、修理不能な設備もあるのが現状である。 この状況を踏まえ、将来の汚泥再生センター処理施設への改築更新計画(後年に策定予定)との整合性を図りながら、ファシリティーマネジメントの手法を取り入れ、大規模予算を伴わないよう予防保全的な設備の修繕並びに中小規模の更新を行うことで現状設備の延命化を具現化し、安全で安定した処理機能を維持するものとする。</p>	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>1, 2次処理(生物処理)を徹底した管理で行い、その後3次処理で使用する薬品使用量の削減を図り維持管理費低減を図る。</p> <p>処理設備の運転方法を再度見直し、節電対策、薬品使用量と燃料(A重油)消費量の削減を図り維持管理費を低減するよう改善を図る。</p> <p>前処理設備、焼却設備の運転時間を再度見直し、A重油の年間消費量を20,000リットル削減できた。 節電対策と薬品使用量については、増加して来年度の課題となった。</p>
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	<p>秩父圏域のし尿処理事業の広域化を検討する勉強会を定期的に開催し、協議会へと格上げし秩父広域市長圏組合も交えてし尿処理事業計画を進めていく。</p> <p>秩父市単独事業でのし尿処理施設の更新計画素案の策定と、秩父圏域のし尿処理事業の広域化を目標として小鹿野町、横瀬町、皆野町、長瀬町との協議の場を設けることで秩父圏域全体でのし尿処理事業費の効率化、維持管理費の低廉化を図る。 秩父圏域のし尿処理事業の広域化を検討する勉強会を小鹿野町、横瀬町、皆野長瀬上下水道組合、秩父市で開催する打合せが行われた。</p>
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	<p>秩父圏域のし尿処理事業計画を確定し、これに基づき「地域計画書」を作成後、県、国へ提出し事業を進捗させる。</p> <p>秩父市のし尿処理施設整備計画素案に基づき秩父圏域のし尿処理事業計画を確定し、これに基づき「地域計画書」を作成後、県、国へ提出し事業を進捗させる。</p> <p>進捗なし</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
清流園の老朽化により将来に計画しているし尿処理施設更新事業については、秩父圏域での広域化を進め新処理施設の建設することで、建設費、維持費の低廉化を図ることを目指している。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	高野 武四郎	電話番号 0494-54-0232
----------------------	--------	----------------------